



速やかに安全な避難場所へ 開通！津波避難デッキ

平成26年12月から工事を進めてきた「津波避難デッキ」が完成し、今後の安全祈願とお披露目を兼ねて、4月23日に開通式を行いました。

渡り初めは、第一中学校吹奏楽部の皆さんによるマーチングバンドを先頭に、来場された一般の方々も参加し、デッキの完成を祝いました。



第一中学校3年
吹奏楽部部长
辻 晴音 さん

私たちが渡り初めで演奏することができ光栄です。デッキの上からは綺麗な景色が見えるので、演奏していて気持ちが良かったです。

デッキが完成すると、何かあった時に一人でも多くの命が救えると思うので、とても嬉しいです。



長野県岡谷市からの
派遣職員
橋爪誠二郎 さん

平成26、27年度に派遣され、デッキの設計業務を担当しました。大変なことも多々ありましたが、無事に開通式を迎えることができました。

岡谷市からは震災以降7人の職員が派遣されています。今回のデッキの完成が一つの形となって、岡谷市の復興支援の役割を果たせたのではないかと感じています。



開通式のために、岡谷市の歴代派遣職員の皆さんが駆けつけてくれました。



開通式に参加した
長井 芳雄 さん
ふみ さん

デッキが完成したことで、信号がなく安心してマリゲートまで行くことができるようになりました。

デッキからは眺めが良いので、災害時だけでなく、観光客の方にもおすすめです。

復興支援への感謝を忘れないために

全国応援職員刻名プレートを設置しました！

津波避難デッキの完成に伴い、歴代応援職員の名前を刻んだプレートを、マリゲート外壁に設置しました。

現在は、業務に2カ月以上従事いただいた156人の方々のネームプレートを掲示しています。



☎ 復興推進課都市基盤復興係 ☎ 355-6593

各務原市のマスコット
キャラクター「ららら」



☎ 市民安全課防災係
35516491

※平成28年5月1日現在

各務原市は人口148,477人、面積87.81平方キロ。岐阜県の南部、濃尾平野の北部に位置し、岐阜市に隣接しています。岐阜市や名古屋市のベッドタウンとして発展を遂げました。工業出荷額は県内第1位であり、航空機工場や航空機部品企業、自動車関連工場などが群立しています。



5月9日、岐阜県各務原（かかみ）がはら市と「災害時相互応援協定」を締結しました。締結式で市長は「東日本大震災の発災当時、協定締結のありがたさを実感した。災害時だけでなく、市民ぐるみで交流し、未永くお付き合いしたい」と話しました。本市が協定を結ぶのは、山形県村山市、愛知県碧南市、長野県須坂市、兵庫県養父市に続いて5団体目です。

復興ニュース



両市の絆で災害を乗り越える

今年度 全戸完成を目指して！

—災害公営住宅整備事業—

昨年5月から建物工事に着手していた清水沢地区災害公営住宅(東工区)が今月完成し、今月下旬から31世帯が入居を開始する予定です。

西工区は現在、建物の内外装工事を行っており、今年9月に完成予定です。



東工区の整備概要

構造など 鉄筋コンクリート造り3階建て
整備戸数 31戸

1LDK	2DK	2LDK	3DK	3LDK
6戸	9戸	6戸	3戸	7戸

上)開放感のあるリビング
下)使い勝手の良いキッチン



北浜地区



平成29年1月の完成に向けて、2階部分の工事を行っています。

伊保石地区



今年5月に完成し、今月から入居が始まります。

錦町東地区



平成29年3月の完成に向けて、2階部分の工事を行っています。

☎ 復興推進課住宅基盤復興係 ☎ 355-6596



右)美しい歌声で観客の心をいやしました。
左)団長の3年・丹野真梨子さんから市長に寄附を贈呈しました。丹野さんは「桂島の景色を思い浮かべながら歌っています」と話しました。

復興への願いを込めて
仙台南高校音楽部合唱団からの寄附呈式が、5月2日にマリッゲート塩釜で行われました。
今回の寄附は、合唱団が米国フロリダ州でのチャリティーコンサートに出演した際に集まった寄附金で、コンサートで披露した「わせねでや」が本市桂島の女性が作った詩をもとにした復興支援ソングであることから、本市に贈呈いただきました。
贈呈式後にはミニコンサートを開き、部員43人が「わせねでや」など6曲を披露しました。

☎ 35515814
問 財政課 財政係